



Newsletter No.152 2018.4.24

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



まだ4月ですが、もうすぐ5月です・神戸にはお花がいっぱい咲いているし、緑がいっぱい！ポーポキは外に出て、春を精一杯楽しもうとしています。

Popoki's Hot News!

COMING SOON!

7月1日(日)は灘チャレンジ!

阪神淡路大震災から毎年、神戸大生と灘区民が協働で開催するお祭りです。ポーポキは、ブースで販売や遊びとポーポキ友情物語展をします。大槌町からシフォンさんも来ます!

ポーポキの切手!

ポーポキの友だちは、世界に一つしかない
ポーポキ郵便切手を作ってくれました!



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのいとにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。
「ひとつのイベントが終わったら、関係者がみんな集まって、食事でもしながらふりかえりしたり、話したりしているときは平和かもしれませんね。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)!



ポーポキ&フレンズ in 大槌町 その2

先月号から掲載させてもらっています、大槌町訪問レポート。今回は旅の後半、2月11日（日）、12日（月）の2日間にあった出来事を報告します。

第3日目 紙芝居

ありパンにゃん

大槌町での3日目、私たちはMASTに来る人たちにあるサプライズを用意していました。それは、ポーポキの紙芝居です。しかし、ちょうどこの頃、大槌町では、子ども達の間でインフルエンザが流行っていたので、寒い冬の日にはみんなあまり外出できませんでした。

それでも私たちは、展示の合間をぬって、準備していたポーポキの紙芝居を上演しました。最初は人が集まってきてくれるか不安だったのですが、いざやってみると、座っていた人はじっと絵に集中して見てくれていましたし、足を止めて見てくれた通りがかりの人もいました。印象的だったのは、買い物

に来ていた高校生の男の子たち。彼らには少し内容が幼いかも思ったのですが、足を止めて真剣に紙芝居を見られました。どんな年齢の人にも受け入れてもらえるポーポキのすごさを改めて思い知らされました。

最初の上演は、私ありパンにゃんとアンギにゃんがしま

した。私が日本語で読み、アンギにゃんが英語で読んでくれました。

私は大きな声で、元気よく、感情を込めてお話を読みました。また、笑顔と楽しい声も絶やさずに、がんばりました。

その日は合計3回上演しました。2回目は私とアグネスにゃんが、3回目は石野さんとアンドリにゃんが上演しました。



第4日目

伊藤さんのツアーを振り返って

いしのにゃん

あの日のまま、大槌町に今も残る上部3メートルだけが折れた電柱。押し寄せる津波に船か車がある

いは建物が運ばれ、ぶつかってその電柱が折れたのだと想像すると、地上が完全に海の底だったことがわかる。それも、私たちが見に行ったときに立っていた地面は、盛り土でかさ上げされた後の場所だ。津波を知る人が声を揃えて言うのは、それがただの海水などではなく、陸の上の多くの物を飲み込んで、全てを運びながら押し寄せてくるということだ。海や水が憎いと思うこともあるかもしれない。でも、この町で生きてきた。

復興後の町の中心に、と考えられているのは、昔からあるふれあいセンターだ。「御社地」という元々の地名から、「おしゃっち」という新しい名称がその地に付けられることになった。この町では、住む場所を失った人があまりにも多い。ふるさとから離れた場所での生活を強いられた人が、あまりにも多い。だからこそ、彼らが帰ってきたときに、知らない町じゃなくて、彼らの町として復興してほしい、そう思われた。



シェイクハンド

アグネスにゃん

和訳 いしのにゃん



2月12日、私たちが大槌町を出発する日、もう一つイベントがありました。大槌おばちゃんクラブでのシェイクハンドです。おばちゃん達といっしょに鮭の形をかたどった人形のデコレーションをしました。まず基本となる形の鮭、そして道具や材料を使って作っていきます。みんなそれぞれのイメージにしたがって、自由に作ってよいのです。鮭は、どこかよそへ行ってしまっても故郷に帰ってくるという考え方があります。綺麗な鮭をつくることができ、私たちはとても嬉しく思いました。ここでもお茶を頂き、一緒にお菓子を食べながらお互い親しくおしゃべりをしました。おちゃっこのイベントの時と同じで、おばちゃんはインドネシアにとっても関心をも

ってくれました。おばちゃんはヒジャブにとっても興味をもって質問してくれました。また、アンドリさんはガジャマダ大学とヨジャカルタ市についての動画を再生しました。鮭の飾り付けが終わると、ビニールの袋で包み、私たちの名前、どこから来たのか、そして希望の価格を書いた紙もその中に入れます。シェイクハンドを終えて、私たちが大槌を発つ時がやってきました。東京池袋行きのバスを待つため、釜石へと向かいました。帰りたくないなあと思う大槌町、あたたかさ溢れる美しい町でした。

以上が私たちの報告になります。今回の訪問を通して、私たちは本当にたくさんの方に気づき、たくさんの方を考えたされました。今後もポーポキと私たちは、大槌町の方々とのつながりをより一層深めていきたいと思えます。

「絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ」に参加して

瑞穂にゃん

2018年3月17日（土）早めの春が来たような天気の良い日に「絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ」が灘区民ホールで開催されました。

Ronni Alexander 先生による紙芝居「ポーポキ、安心ってなに?」、勅使河原 君江先生によるパステルを使った「安心を表現する」お絵描きコーナー、震災後から岩手県大槌町を取り続けている写真家 伊藤 陽子さんの写真展、シンポジウム「東日本大震災から考える安全安心」と盛りだくさんのプログラムの中、私はシンポジウムに参加しました。



シンポジウムでは、大槌町で内科小児科医院をされている道又 衛先生による「3/11 の津波襲来時の我が家の対応とその後について」、写真家 伊藤 陽子さんによる「震災後を撮り続けている理由・写真を通しての安全安心」、子ども権利条約関西ネットワーク子ども会議メンバー 小学5年生 林 香里さんによる子どもの権利の話、小学校教諭 有山 智先生による学生時に災害ボランティア活動をした話、

日本 YMCA の大江 浩さんは、国内外での災害支援やボランティアの話など、シンポジストのお話を聞いた後、グループワークとして「安心安全な社会とは」について意見を出し合いました。

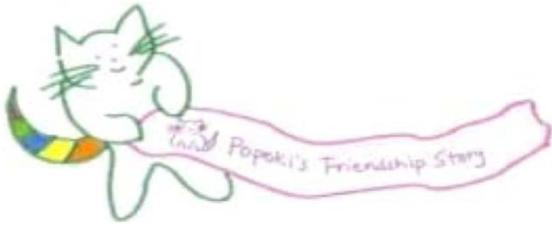
参加者の年齢も震災経験の有無も職業も様々な人たちが集まって「安心安全な社会」について意見を出し合うことができ、いろんな気づきが出来ました。「安心安全な社会」は、そ



その人の年齢や置かれた立場によって異なること、例えば、子どもであれば周りの大人が信用できる人なのか、子を持つ親であれば子どもの事を第一に考えた安全安心、自分が居る社会に自分の役割があり居場所があるのか、心を許して気持ちを話せる人がいるのか。意見を出し合ううちに見えてきたのは、人との繋がり、コミュニケーションの大切さでした。

グループワークの時間は15分と短いものでしたが、このような会が今後も行われ、多くの方が改めて「安心安全な社会とは」なんであるかを話し合うことによって繋がり、輪が広がることを期待しています。





Popoki's Interview

キヨにゃん

対象：大江 浩さん

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ(ぽっとらっく)にて

日付：2018/03/17 (土) 場所：灘区民ホール

このパーティでは、イベントの名前のように様々な催しが行われました。

その中でお話(ミニ講演)がありました。

演者の方は、5名おられ、その中の1人、大江 浩さんにインタビューをさせていただきました。

大江さんお話の中で、印象深かったものを1つあげて、インタビューに移ります。私は、このお話を聞くまでは、聞いたこともありませんでしたが、絵本にもなっているととても感動的なお話を簡単に話してくれました。

1962年、ネパールで、医療活動をされていた日本人のお医者さんのお話でした。

そのお医者さんは病院に来られる人はまだ元気な病人だ。本当に病気の方は病院に来られない。

そう気づき、ネパールの山奥まで数日かけて往診などを行っていたそうです。

ですが、往診だけでなく、病院でも診察があり、

往診で診られないある患者さんであるおばあさんがある名前もわからない若者が

治療が終わるまで何日もタンセンの病院まで運んでくれ、謝礼金も受け取らず、「サンガイ・ジウナコ・ラギ」と言い残し

去っていったという話を聞かせてくれました。

「サンガイ・ジウナコ・ラギ」とは、「みんなで生きるために」という意味だそうです。

私は、困ったときはお互い様という風を感じ取りました。

震災という非日常でも、今生活している日常でも、みんなで生きるために、何かを行い、

みんなが1人ではないんだと思えることが大切なんではないだろうか。と締めくくってお話が終わりました。



インタビュー

Q1：今日の“ぽっとらっく”へ参加しようと思われた経緯を教えてください。

ロにゃんに依頼されました。

Q2：大江さんにとって、安心、安全とは何ですか？

“つながり” = 人とのつながり

つながる為の出会いが、たくさんある。

友達、家族、職場など etc

決して独りぼっちではなく、あなたのままでいい。



Q3：東日本大震災や阪神大震災など震災を通して学んだこと、思われたことはありますか？

震災などの災害は非日常ではあるが、日常の縮図と考えている

それは、立場の弱い(高齢者、妊産婦、こどもなど)が後回しにされがちであり、

大きなコミュニティから除外されがちである。

これは、どの震災の避難所でも共通しており、常に感じており、実感している。

国内外様々な場所を見てきたが、その出会いやつながりから、

“人と分かち合う”“共に生きる”＝平和と共生することを学んだ。

たしかに、そういった教訓や学びから得ることや活かすことは出来るが、

立場の弱いひとたちを非日常でもコミュニティから除外されることなどがないようにするためには、日常から“多様性”を意識していくことが必要であると考えています。

Q4：園児、小さなお子さんやそのお母さんたちが災害に見舞われた時にどうすれば安心、安全を感じる事ができそうですか？

今日のようなおもしろい試みのように、様々なひとと情報を共有することが大切と考えます。

それは、日常生活でも、社会では遠い存在になってしまっていると思うから。

お母さんは、子育てをしていると社会と少し遠い存在になってしまいます。

そして、社会はそんなお母さんたちやこどものことを知らない。

お互いに知らない。

災害などで突然に一緒になると、パニックに陥ると排除してしまいがちになる。

なので、そうならないように、していくことが大切。

Q5：20代など若い世代に期待していることやしてほしいと感じていることはありますか？

皆に、可能性があり、出来ることがある。

だから、国内外関係なく、何かに参加すること、チャレンジすること。

出会える世界があるから、明日は今日の積み重ねであり、ポジティブに自分を信じてほしい。

Q6：最後に、今回のぽっとらっくに参加されて感じたことや思ったことはありますか？

出会いとつながりの場を与えてもらった。

久しぶりの友達にも会えた。それは、震災を通して出会った人々など様ざま。

非常によい時間を過ごさせていただきました。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 119

今月のテーマは、休憩する！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、休憩？それとも背を向ける？いつもと反対方向に座って、眺めを楽しみましょう。
 3. 次は、仰向けになって、ストレッチ！
 4. 最後は、足、手、しっぽを上へのぼして、みんなふりふり！
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：5月30日 19:00～ 灘薬剤師会(六甲道)

- 4.29 17:30-19:30 “Author’s Live” ろにゃんは、ポーポキの本から読みます。場所：Bar Iznt, <http://iznt.net> 入場無料。(p.9を参照)。
- 6.2 ポーポキ@畿央大学 「平和と健康ワークショップ」
- 7.1 ポーポキ@灘チャンレンジ！
- 7.14 ポーポキ@こどもの里！
- 8.6 08:00～ ポーポキのヒロシマディースカイプ
- 8.6 午後 ポーポキの平和ワークショップ@多文化共生セミナー

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック2017年

Authors Live

Free
Admission

Sun., April 29, 2018
5:30-7:30 pm
Bar Iznt, Sannomiya, Kobe
<http://iznt.net>

- * Four Authors reading
- * Mingling afterwards
- * Info: <http://jaredangel.com>
angel@jaredangel.com



Ronni Alexander
Professor, Kobe University
Reading selection from the *Popoki Peace Book* series
alexroni@kobe-u.ac.jp



Peter Mallett
Winner, Writers in Kyoto Writing Contest (2016)
Reading 'Sunset for Dolores' from the anthology
Eternal (Hammond House 2017)



Deborah Iwabuchi
Japanese-English translator, Minamimuki Translations, Ltd
Reading "Tomosui" by Nobuko Takagi translated by Deborah
www.minamimuki.com // deborah@minamimuki.com



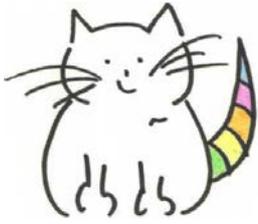
Elaine Lies
Reuters Correspondent
Reading from a collection of flash fiction

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」**「こくしのまど 52」**『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の**「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ!** <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- **「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団**『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- **「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う**『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- **「被災 秘めた思い描いて」「ひと抄**『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- **「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」**NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- **「布に希望 60メートル」**阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- **「平和祈る声まとめ本に」**斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」**『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 **「『ポーポキ、平和って、なにに色?』の背後にあるもの** (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志**「シリーズ:こくさいのまど⑮(パレスチナについて)**『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- **「みんなでやれば、何にかが変わる！」** THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 **「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」**『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- **「友情」第 2 号** 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- **「ともに・・・」** No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌**「なだ」** 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャンレジ情報。
- **「『ポーポキ、友情って、なにに色?』「私のいち押し」** 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- **「友情って・・・考える絵本」** 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- **「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」** れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- **「カテイング・エッジ」** 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色?ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- **「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」**(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- **「ポーポキ、平和ってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- **「ポーポキ、ゴミってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- **「友だちになつてくれませんか?」** RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- **「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」** エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- **「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」** Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞 **「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」** 2008.10.8. 10





わたしにとってのポーポキ

キヨにゃん 

僕がポーポキ・ピース・プロジェクトに入って4年経ちました。
まだまだ知らないことがたくさんあります。1つ1つが新たな発見です。

そんなポーポキでいろんな人に出会えてよかったと思っています。
なぜそのように感じたのかと言うと、
2017年は国家試験の勉強で全く参加できなく、約一年ぶりになる2018年3月のポー会に参加した時の事でした。久しぶりに行ったにも拘わらずとっても暖かく迎えてくれてうれしかったです。



そして、先日行われた灘区民ホールでの“ぽっとらっく”
そこでも、新しい人と出会うことができ、懐かしい人とも再会することが出来ました。
その時に、ポーポキにいてよかったなと心から感じました。



まだ理由はあります。
一緒に大槌町に行った仲間と久しぶりに会う機会がありました。
今は、お仕事が忙しくてポー会には参加できないみたいです。

彼女と久しぶりに会っても、1年の歳月は関係なく、いろいろおはなしをして
楽しい思い出となりました。

なので、ポーポキが好きですし、ポーポキのためにがんばりたいと思っています。
これからは、学生から社会人としてポーポキに参加します。
新たな視点で物事を考え、僕のようにポーポキを好きになってもらえるように
活動したいと思います。

ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!